

西武学園文理小学校



社会で活躍できる人に

日本人としてのアイデンティティをもち、将来グローバル社会で活躍できる人間性を養います。また、世界の新トップエリートとして、「リーダーシップ能力」「ホスピタリティ精神」「確かな学力」「知識」そして、自分の意志を伝える事のできる「英語力」を身につけ、さらに「洗練されたレディー&ジェントルマンとしての基礎」を育成します。



住所／〒350-1332
埼玉県狭山市下奥富600
TEL／04-2900-1800
URL／<https://www.seibubunri-es.ed.jp/>

校長先生の / リレーブログ



西武学園文理小学校 校長
飛田 浩昭

全国の校長先生が学校のことをリレー形式で紹介する「校長先生のリレーブログ」第1回目は小中高12年間の一貫教育で「世界のトップエリート」を育成することを教育の目標としている西武学園文理小学校の飛田浩昭校長先生です。

埼玉県狭山市にある小学校で、文理中学・高校にもつながっています。特色は、英語に強くなることでしょう。7人のALTの先生と一緒に文理解イマージョン教育では、音楽・図工・体育・情報を英語で実施。英語の授業とあわせて週11時間、英語を使う時間があり、年に直すと385時間になります。6年間続くので、4技能のうち「話す」「聞く」は自然にできるようになります。上級生は、「書く」「読む」をバランスよく学びます。

英語だけ学習するのではなく、日本の文化をきちんと学びます。日本文化の源流は、稲作文化です。文理ファームで田植え、稲刈りをした後は五穀豊穣に感謝して神社に奉納し、神主さんから玉串の捧げ方を学びます。お米は十八の手間をかけてみんなの口に入ることを知れば、粗末にしない

体験を通して英語と日本の文化を学ぶ



ようになり、フードロスへの関心にもつながります。和風作法教室では箸の取り方、箸の持ち方から学びます。日本の文化を学ぶことで、英語の表現も深まります。

文理小では、英語を使うことも学びます。5年生全員でイギリスに16日間の短期留学をし、6年生はアメリカに7日間の研修旅行に行きます。アメリカではボストンで大学を回り、ホームステイを経験し、国連でSDGsを学び、現地の子ども達とけん玉や日本の遊びをします。英語のシャワーを浴びた子ども達も、世界に羽ばたいていくのも容易なことでしょう。